

注 記 事 項

(1) 重要な会計方針

運営費交付金収益の計上基準

運営費交付金収益の計上につきましては、(a)練習船経費及び退職手当等に「成果進行基準」、(b)管理・業務部門経費及び人件費等に「期間進行基準」、(c)想定されない事故・緊急対応経費に「費用進行基準」を採用しております。

減価償却の会計処理方法

1) 有形固定資産

減価償却の方法につきましては、定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

| | |
|-------------|----------|
| 構 築 物 | 5 ~ 15 年 |
| 船 舶 | 3 ~ 11 年 |
| 工 具 器 具 備 品 | 3 ~ 12 年 |

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第77）の減価償却相当額については、損外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

2) 無形固定資産

減価償却の方法につきましては、定額法を採用しております。

なお、法人内利用のソフトウェアにつきましては、法人内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

退職手当に係る引当金及び見積額の計上基準

退職手当引当金につきましては、役職員の退職手当の財源措置がなされるため、計上していません。

また、行政サービス実施コスト計算書における引当外退職手当増加見積額は、自己都合退職金要支給額の当期増加額に相当する金額を計上しております。

たな卸資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産につきましては、先入先出法を採用しております。

行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

1) 国有財産無償使用の機会費用の計上方法

(a)事務所使用料につきましては、近隣ビルの賃貸料等を参考に算定しております。

(b)港湾施設使用料につきましては、港湾管理者が定めている料金を基に算定しております。

2) 政府出資等の機会費用の計上方法

政府からの出資等の純額に、平成14事業年度における各月の国債利回りの平均の率(1.11%)を乗じて算定しております。

リース取引の処理方法

海王丸のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

(2) 重要な債務負担行為

平成13年12月10日に、最新の船舶技術及びITを導入した訓練機材を装備した次世代対応練習船整備を図るため、三井造船株式会社と「銀河丸」の代船建造工事契約(平成16年6月15日竣工予定)を締結し、平成14年11月に起工いたしました。

| | |
|---------------|-------------|
| 契 約 金 額 | 4,504,893千円 |
| 〔 当 期 支 払 額 | 1,547,600千円 |
| 前 期 支 払 額 | 662,500千円 |
| 次 期 以 降 支 払 額 | 2,294,793千円 |

(3) 重要な後発事象

該当ありません。